

当組合の自己改革の取組み状況について

■自己改革の考え方について

J A兵庫西では、地域農業の維持・振興とくらしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業を展開するとともに、組合員・地域のみなさまから必要とされ、支持されるJ Aであり続けるため、県内14 J Aや全国611 J A（平成31年4月1日現在）の仲間とともに自己改革に取り組んでいます。

J A兵庫西がこれまで取り組んできた自己改革の取組み状況は次のとおりです。

■自己改革の取組みについて

令和元年度目標 販売品販売高 63億円

【農業者の所得増大】 【農業生産の拡大】 に向けた取組み

重点施策	取 組 み 状 況	具 体 的 な 内 容
生産者の育成支援	◆旬彩蔵出荷農家の育成支援 新規会員数 平成28年度 平成29年度 平成30年度 159人 → 134人 → 109人	・新規会員は3月末現在109人です。退会者は91人で、純増は18人の状況です。 
	◆生産者組織の育成支援 部会会員数 平成28年度 平成29年度 平成30年度 250人 → 272人 → 287人	・生産者組織の会員の増加運動を各部会で実施。高齢化による会の脱退者の補充に、新規の取組者を育成しました。 
	◆集落営農組織や認定農業者の農業生産の拡大 新農業生産振興育成支援事業助成額 平成28年度 平成29年度 平成30年度 2,036万円 → 1,865万円 → 1,542万円	・新農業生産振興育成支援事業の活用支援による大型農機・旬彩蔵会員のパイプハウス・鳥獣害柵の導入助成に取り組んでいます。 
	◆新規就農者や若手生産者の育成支援 J A兵庫西青壮年部会会員数 平成28年度 平成29年度 平成30年度 26人 → 27人 → 27人	・平成30年度からの三カ年計画では、毎年3人の会員増加を目標として取り組んでいます。 ・青空会には、タマネギ等機械化による生産や「につしいライス輝」の作付提案を実施しています。 

重点施策	取組み状況	具体的な内容
マーケットインに基づく生産・販売事業方式への転換	◆JA独自ブランド米 「にっしーライス輝」の生産拡大 生産実績 平成28年度 平成29年度 平成30年度 1t ➡ 26t ➡ 96t	・令和元年度は作付面積25haを目標に、環境に配慮した生産とひょうご推奨ブランド等の取得に取組めます。 
	◆契約栽培米の取引拡大 【契約栽培米】 出荷実績 平成28年度 平成29年度 平成30年度 1,229t ➡ 1,751t ➡ 1,511t	・うるち米では、どんとこい412t、やまだわら140tの出荷実績となりました。酒米では、兵庫夢錦334t、白鶴錦335tの出荷実績となりました。 
	◆小豆の生産拡大 【小豆】 出荷実績 平成28年度 平成29年度 平成30年度 82t ➡ 108t ➡ 104t	・販売高 137,051千円(前年度実績対比 100.6%)となりました。 
	◆タマネギ・ジャガイモの周年出荷体制の整備 作付実績 【タマネギ】 平成28年度 平成29年度 平成30年度 3.6ha ➡ 9.8ha ➡ 16.0ha 【ジャガイモ】 平成28年度 平成29年度 平成30年度 2.3ha ➡ 3.0ha ➡ 3.2ha	・タマネギ・ジャガイモの管内生産量拡大による旬彩蔵・野菜市での周年販売を目的に、大型機械化体系による省力化の研究・実践、出荷体制の整備など、買取販売の強化に取組んでいます。  

【地域の活性化】に向けた取組み

重点施策	取組み状況	具体的な内容
ふれあい活動	◆ふれあい訪問・ふれあい農園 ふれあい訪問実績 88,664戸 ふれあい農園設置 62箇所 ◆貸し農園 高浜 12区画 (24㎡/1区画) 姫路灘 19区画 (24.75㎡/1区画) 英賀保 16区画 (25㎡/1区画)	・地域との絆を育むことを目的に、各店舗でふれあい訪問・ふれあい農園に取組んでいます。また、貸し農園「旬彩ファーム高浜」、「旬彩ファーム姫路灘」に続き、「旬彩ファーム英賀保」を開園し、農に対する理解を深める活動に取組んでいます。 
	◆地域生活文化活動 平成30年度活動実績 ・ふれあい旅行 参加者1,548人、支援額758万円 ・姫路城マラソン協賛 300万円 ・学童軟式野球大会開催 管内15チーム282人参加 ・食農教育実施回数 117回	・地域とのつながりを深めるため、地域イベントへの参加や、次代を担う地域の子どもを対象に食農教育活動を実施し、農産物のありがたさ、大事さを伝える活動に取組んでいます。 

JA兵庫西は、組合員・地域のみなさまとともに話し合いながら、自己改革を実践してまいりたいと思いますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。